令和 7 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	輝くまち	政策名	新たな価値と活力を創出するまちづくり
施策No.	25	施策名	水産業の振興
主管課名	農林水産課		
関係課名			

10年後の目指す姿	きれいな海に親しみ、つくり育てる漁業によって新鮮な魚介類が豊富に獲れています。

施策の現状及び課題	現　状	・老朽化が著しい経田漁港の機能回復や長寿命化のため、保全工事やしゅんせつ工事に取り組んでいます。 ・漁業従事者の高齢化が進行していることから、担い手の確保、育成に取り組んでいます。 ・漁業活性化に向けた6次産業化や地産地消、安全性と品質確保などに取り組んでいます。
	課　題	・水産資源の保全と確保を図るため、持続可能な漁業を推進していく必要があります。 ・魚価の低迷や後継者不足など厳しい経営環境にある漁業者の支援を行っていく必要があります。 ・魚津産魚介類の付加価値を高めるため、ブランド化を推進していく必要があります。

施策を進めるための役割分担	行　政	・水産資源の保護や漁場環境の保全に取り組みます。 ・漁業者が安心して漁業活動が行えるよう、効率的な漁業施設の整備と機能保全に取り組みます。 ・担い手の育成や漁業活性化のための事業展開に取り組みます。
	市　民 ・ 事業所	・海岸や河川等の清掃活動に取り組みます。 ・安心・安全で新鮮な地場産食材を積極的に購入します。 ・藻場の維持管理に取り組みます。

目指す姿の実現のための取組（基本事業）	基本事業①	水産業生産基盤の整備強化
	基本事業②	水産業経営基盤の整備強化と担い手の育成
	基本事業③	魚のブランド化と地産地消の推進
	基本事業④	

	区　分	単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
施策のトータルコスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本	19 (16)	18 (15)	19 (16)	20 (17)	20 (17)	
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	5 (5)	
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	12 (9)	12 (9)	13 (10)	13 (10)	13 (10)	
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	2 (2)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本						
	B. 事業費 （事務事業の事業費合計）	千円	26,947	64,584	168,583	324,551	187,955	
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	8,077	11,551	113,448	118,172	122,109	
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	18,708	52,871	54,123	204,041	65,024	
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	162	162	1,012	2,338	822	
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円						
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	29	30	31	32	32	
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	4,000	4,520	4,520	4,540	4,740	
	E. 人件費 （D×1時間あたりの平均人件費）	千円	15,692	17,520	17,881	18,632	20,159	
	F. トータルコスト （B＋E）	千円	42,639	82,104	186,464	343,183	208,114	
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 （定義式 ： B／人口 ）	円	666	1,618	4,292	8,404	4,946	
	同　上 H. 人件費 （定義式 ： E／人口 ）	円	388	439	455	482	530	
	同　上 I. トータルコスト （定義式 ： F／人口 ）	円	1,053	2,057	4,748	8,887	5,476	
参　考	1時間あたりの平均人件費	円	3,923	3,876	3,956	4,104	4,253	
	魚津市の人口（各年度12月末時点）	人	40,477	39,919	39,274	38,617	38,005	

基本事業概要シート①

施策No.	25	施策名	水産業の振興
基本事業名		①水産業生産基盤の整備強化	
基本事業の目的(意図)		魚介類の保育場等としての藻場の再生事業や魚礁の設置、稚魚の放流などを行い、水産資源の維持・増殖及び漁場環境の保全に努めます。	
令和7年度における主な事業内容(活動内容)		【栽培増殖振興対策事業】【水産多面的機能発揮対策事業】 ・魚介類などの水産資源の確保、増大を図り生産性を高めることを目的に、ヒラメ、クロダイの種苗を放流しました。 （R7放流量　ヒラメ:14,100尾、クロダイ:29,500尾） ・にいかわ地区の漁協が連携し、日本財団の支援を得てガゴメコンブ等の海藻養殖試験、海藻メニューの開発・効能分析、周知PRに取り組みました。 【内水面漁業振興対策事業】 ・河川の水産資源の確保、増大を図り生産性を高めることを目的に、アユ、イワナ、ヤマメの種苗を放流しました。 （R7放流量　アユ:87,000尾、イワナ:1,000尾、ヤマメ:4,000尾） 【漁港維持管理事業】 ・豪雨により経田漁港に流入した流木の処分及び老朽化したプレジャーボートの係船環の安全点検業務を実施しました。 【漁港整備事業】 ・水産物供給基盤機能保全事業において、経田漁港の岸壁の調査を行いました。 （R7実績　-4.5m航路しゅんせつ　V=2,278㎥） ・波浪等による浮桟橋の損傷を防止するため港口部に波除堤（L＝約30.0m）を新設しました。 ・老朽化したプレジャーボート用の上下架施設の改修工事に着手しました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度（中間目標値）	12年度（目標値）
市場での水産物取扱量	t	3,020	2,901	3,050	3,100	3,150	3,200	3,250	3,500
				2,778	2,820	2,516	3,039	2,422	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など)　-:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計	○ 栽培増殖振興対策事業	200,000	0	200,000	0	B	農林水産課
2	一般会計	○ 内水面漁業振興対策事業	800,000	800,000	0	0	B	農林水産課
3	一般会計	○ 水産多面的機能発揮対策事業	786,000	751,000	35,000	0	A	農林水産課
4	一般会計	漁港維持管理事業	800,000	788,040	11,960	0	-	農林水産課
5	一般会計	○ 漁港整備事業	206,182,120	119,770,000	86,412,120	81,706,120	B	農林水産課
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
合　計			208,768,120	122,109,040	86,659,080	81,706,120		

基本事業概要シート②

施策No.	25	施策名	水産業の振興
基本事業名		②水産業経営基盤の整備強化と担い手の育成	
基本事業の目的(意図)		漁業経営に対する支援を行います。また、水産物の6次産業化を推進し、魚価の向上や担い手の育成を図り、魅力ある漁業を創出します。	
令和7年度における 主な事業内容(活動内容)		【漁業経営安定対策事業】 ・漁業者の漁船保険(57件)や漁獲共済の掛け金等(30件)に対する助成を行いました。 ・漁業者が漁船の建造・改造や漁具の取得などで借り入れた近代化資金の利子の一部を支援(3事業者)しました。 ・漁船で使用される軽油等の価格高騰対策として、漁業者に対し燃料価格高騰分に対する支援(6件)を行いました。 ・電力を大量に消費する共同利用施設の電力価格高騰対策として、漁協に対し電力価格高騰分に対する支援(2施設)を行いました。 【漁業振興事業】(施策25③再掲) ・魚津漁協が漁業活性化計画に基づいて推進する「漁業の6次産業化」「安全性と品質確保」「地産地消の推進」「地域資源の商品化」「情報発信」「人材育成」等の活動に対して、引き続き支援しました。 ・漁業経営構造改善事業補助金により魚津漁協の水産加工所のコンベア式炙り機等の整備補助を行いました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
新規漁業就業者数(漁協正組合員数)	人	7	14	7	7	7	8	8	10
				12	18	14	8	10	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計	○ 漁業経営安定対策事業	7,893,000	6,805,124	1,087,876	779,263	B	農林水産課
2	一般会計	○ 漁業後継者育成対策事業	107,348	40,000	67,348	0	B	農林水産課
3	一般会計	○ 漁業振興事業	56,998,000	56,998,000	0	0	B	農林水産課
4	一般会計	水産・みなと一般管理業務	1,677,102	814,957	862,145	0	-	農林水産課
5	一般会計	船員窓口事務	2,550	750	1,800	0	-	農林水産課
6	一般会計	富山県北方領土復帰促進協議会参画事業	130,000	130,000	0	0	-	農林水産課
7	一般会計	海上保安協会富山県支部参画事業	9,000	9,000	0	0	-	農林水産課
8	一般会計	沖合漁業・出漁団助成事業	40,000	40,000	0	0	-	農林水産課
9	一般会計	魚津みなと振興会助成事業	180,000	180,000	0	0	-	農林水産課
10	一般会計	水産都市協議会参画事業	6,000	6,000	0	0	-	農林水産課
11	予算なし	農山漁村振興交付金事業	0	0	0	0	-	農林水産課
12	予算なし	漁業許可申請事務	0	0	0	0	-	農林水産課
13	予算なし	水難救助法事務	0	0	0	0	-	農林水産課
14	一般会計	魚津の農林水産業体験・応援事業(施策23③再掲)	(1,141,000)	(523,180)	(617,820)	(0)	-	農林水産課
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
合計			67,043,000	65,023,831	2,019,169	779,263		

基本事業概要シート③

施策No.	25	施策名	水産業の振興
基本事業名		③魚のブランド化と地産地消の推進	
基本事業の目的(意図)		漁協などと連携して販売体制の強化やPRに努め、魚津産魚介類のブランド化を推進します。また、発祥の地として知られる「カニかご漁」の歴史を伝承するなど、地元で獲れる魚介類に対して理解を深めながら、地産地消などの消費拡大に取り組みます。	
令和7年度における主な事業内容(活動内容)		【食のブランディング事業】 ・東京で開催される「おにぎりサミット」へ参加し、全国の参加自治体とともに農林水産物のPRを行いました。 ・魚津市内の農林水産物関連事業者の海外市場開拓、農林水産物・食品の輸出促進活動の支援のために台湾で開催された国際食品見本市への出展に対し県と連携して支援を行いました。 【魚食普及事業】 ・「富山県おさかな普及協議会」が魚食の普及に関連して実施する関係冊子(8,000部)の作成について、県内8市町(魚津市、富山市、高岡市、滑川市、黒部市、射水市、入善町、朝日町)が連携して支援を行いました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(中間目標値)	12年度(目標値)
新規商品開発(総)件数	件数	4	4	7	9	11	13	15	30
				10	15	15	15	15	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) −:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計	○ 魚津の食のブランディング事業	1,534,000	659,927	874,073	0	B	農林水産課
2	一般会計	○ 魚食普及事業	162,000	162,000	0	0	B	農林水産課
3	一般会計	○ 漁業振興事業(施策25②再掲)	(56,998,000)	(56,998,000)	(0)	(0)	B	農林水産課
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
合計			1,696,000	821,927	874,073	0		

施策No.	25	施策名	水産業の振興

令和7年度の評価結果（基本事業の成果を考慮し記載）

1. 施策（基本事業）の成果水準とその背景
（成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述）

【①水産業生産基盤の整備強化】
◆市場での水揚げ量は、2,422トン（前年度：3,039トン）となり、目標値を下回りました。
魚種別　カワハギ：88トン（前年度：54トン）、アジ：142トン（前年度：382トン）、フクラギ：354トン（前年度：278トン）、ベニズワイガニ：139トン（前年度：130トン）
◆船揚施設の利用隻数については、令和4年度は68隻、令和5年度は76隻、令和6年度は79隻、令和7年度は76隻となりました。

【②水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】
◆新規漁業就業者（漁協正組合員）は、10人と目標値を満たしております。なお、漁業従事者は、令和7年度は193人（前年度：195人）となりました。
◆ボートヤードの利用隻数は、増加がみられ令和7年度は83隻（前年度：78隻）でした。

【③魚のブランド化と地産地消の推進】
◆水産物取扱額は、令和6年度は13億3千万円、令和7年度は13億4千万円、と増加しました。
◆新規商品開発数は、令和6年度、7年度ともに15件の開発を行い、目標値通りとなりました。

2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み（事務事業）の総括
（令和7年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述）

【基本事業共通】
◆市内に存する3つの港（魚津港南地区及び北地区、経田漁港）の目指すべき将来像や港周辺の賑わいづくりの基本的な方針を定めた「魚津市3港将来ビジョン・周辺エリア活性化計画」に基づく施策を実施しました。

【①水産業生産基盤の整備強化】
＜栽培増殖振興対策事業、水産多面的機能発揮対策事業＞
◆魚介類などの水産資源の確保、増大を図り生産性を高めることを目的に、ヒラメ、クロダイの種苗を放流しました。
＜漁港整備事業＞
◆経田漁港の機能回復や長寿命化を図るため、平成29年度から港内のしゅんせつを行っており、令和7年度は航路のしゅんせつ工事（V＝2,278㎥）を行いました。
◆波浪等による浮桟橋の損傷を防止するため港口部に波除堤（L＝約30.0m）を新設しました。
◆老朽化したプレジャーボート用の上下架施設の改修工事に着手しました。

【②水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】
＜漁業経営安定対策事業＞
◆「魚津市水産業経営安定補助金交付要綱」に基づき、漁業者の漁船保険（57件）や漁獲共済の掛け金等（30件）に対する助成を行い、経営安定のための支援を引き続き行いました。
◆燃料価格の高騰により経済的影響を受けている市内の漁業者の経営安定化のため、燃料の購入に係る費用の一部に対して支援（6件）を行いました。
◆電力を大量に消費する共同利用施設の電力価格高騰対策として、漁協に対して支援（2施設）を行いました。
＜漁業振興事業＞
◆魚津漁協が漁業活性化計画に基づいて実施している「漁業の6次産業化」「安全性と品質確保」「地産地消の推進」「地域資源の商品化」「情報発信」「人材育成」等の活動に対して支援を行いました。
◆漁業経営構造改善事業補助金により魚津漁協の水産物加工所のコンベア式炙り機等の整備補助を行いました。

【③魚のブランド化と地産地消の推進】
＜食のブランディング事業＞
◆東京で開催される「おにぎりサミット」へ参加し、全国の参加自治体とともに農林水産物のPRを行いました。
◆魚津市内の農林水産物関連事業者の海外市場開拓、農林水産物・食品の輸出促進活動の支援のために台湾で開催された国際食品見本市への出展に対し県と連携して支援を行いました。
＜魚食普及事業＞
◆魚食普及に関して「富山県おさかな普及協議会」が実施する冊子「ふるさと富山湾」の作成（8,000部）を支援し、作成された冊子を教材として市内小学校の5年生及び担当教員に配布することで、富山湾の漁業と食文化の普及に努めました。

3. 施策の課題認識及び取り組み状況
（前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述）

【①水産業生産基盤の整備強化】
◆水産資源の保全と確保を図るため種苗の放流を引き続き行うほか、放流効果を検証しより効果的な栽培漁業を推進します。
◆経田漁港については、機能保全計画に基づき、水産物供給基盤機能保全事業を活用して保全工事を進めます。また、以前より問題となっている港内の砂の堆積については、同事業により計画的にしゅんせつ工事を進めていきます。
◆水産物の生産・流通基盤の機能強化と海洋レクリエーションによる交流人口の拡大を図るため、波除提の新設や老朽化している上下架施設等の更新について、計画的に整備を進めます。
◆魚津港の機能維持にかかる整備促進について、国・県へ要望します。

【②水産業経営基盤の整備強化と担い手育成】
◆厳しい経営環境にある漁業経営者に対して、漁業者の漁船保険や漁獲共済の掛け金等に対する助成など経営安定のための支援を引き続き行っていきます。
◆漁業への就業促進や定着化及び担い手を育成するため、新規就業者に対し就業支援を行います。
◆魚津港北・南地区、経田漁港及び周辺地域の活性化に向け、「魚津市3港活性化推進委員会」において関係団体等との連携を進めます。

【③魚のブランド化と地産地消の推進】
◆魚津産魚介類のブランド化を推進するため、寒ハギ「如月王」や「バイ飯」に続く商品開発を進め、普及、販売拡大を図ります。
◆加工施設を活用した商品開発や品質向上及び販路拡大を進め、水産物が持つ価値をさらに高めることにより、漁業所得の向上を図ります。
◆ガゴメ昆布などの養殖の事業化を進め、魚津の新しいブランドとして認知度の向上を目指します。